

平成29年茨城県内の死亡災害事例（建設業）

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型		災害の概要
			起因物		
No.1 1月 11～12時	造園工 50歳代 20年	その他の土木 工事業	墜落・転落	はしご等	個人宅の敷地内の立木を伐採する作業中、道路側に木が倒れるのを防ぐため、木に2連はしごを立てかけたワイヤーロープを掛けようとしていたところ、5.9メートル下のアスファルト路面に転落した。
No.2 4月 13～14時	作業員 60歳代 3年	その他の土木 工事業	崩壊・倒壊	金属材料	解体工事現場で瓦礫の片づけ作業中、現場を区画するよう設置されていた囲い（高さ約7メートル）が崩壊し、その下敷きとなり死亡した。
No.3 4月 16～17時	管理者 20歳代 8年	上下水道 工事業	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	水道管の取替え工事現場で、下り勾配の道路に駐車してトラックに用具を積み込み中、突然、トラックが後退して斜面から横転したため、その下敷きになり死亡した。
No.4 7月 16～17時	現場職員 30歳代 6年	その他の建築 工事業	墜落・転落	建築物・ 構築物	屋根の改修工事現場において、1階屋根（ルーフデッキ）の上に外部足場を組み立てるため、1階屋根に上がって歩行中、網入りガラス（厚さ6.8mm）を踏み抜いて、7.1m下のコンクリート床に墜落して死亡した。
No.5 7月 11～12時	鉄骨工 50歳代 38年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	墜落・転落	屋根・はり もや・けた 合掌	工事の新築工事現場において、鉄骨梁（高さ13.5m）のボルトの本締め作業中に体勢を崩し、梁に取り付けられたブレース材を掴んだが、固定されていないブレース材の一端が下ったことで、張られた水平ネットを破り破れ目から墜落して死亡した。
No.6 7月 8～9時	作業員 70歳代 5年	その他の土木 工事業	激突され	立木等	雑木林の立木の伐採作業現場において、地面に落ちた枝の回収作業を行っていたところ事業主がチェーンソーを用いて伐倒した木に激突されて死亡した。
No.7 8月 15～16時	作業員 70歳代 0年	その他の建築 工事業	高温・低温 の物との 接触	高温・低温 環境	平屋建家屋の解体工事現場で、作業中の被災者が熱中症により倒れ、コンクリートの床上に頭部を強打し、病院に搬送され治療を受けていたが、7日後に死亡した。（保護帽を着用していたが、あご紐が緩かったため、転倒時に外れた。）
No.8 12月 14～15時	解体工 40歳代 2ヶ月	その他の建設 業—その他	墜落・転落	屋根・はり もや・けた ・合掌	納屋の解体工事現場において、防水シートを剥がす作業していたところ、高さ約2.8mの屋根端から墜落し、死亡した。

（茨城労働局発表に基づき建災防作成）